

理事長 対談 PART 3



蓮池 攻先輩

Osamu Hasuiki

東京JC 1980年度副理事長・
日本JC 1982年度北方領土対策委員会 委員長
広創建設株式会社 代表取締役 会長

国が動けないときに僕らが 北方領土を返せと言いに行っただ

塩澤 現在は北方領土の返還運動に携わった経験がないメンバーばかりなので、70周年を機として先輩が行っていた運動についてお聞きしたいと思います。

蓮池 北方領土の話ですけど、そもそも僕はずっと東京JCでは社会開発系だったです。その後、黒川君が日本JCの会頭になる時に、当時日陰の北方領土の委員会に「誰もいないなら」といって委員長になったのが始まりでした。

塩澤 最初は日本JCの委員会だったんですね。その当時から日

本JCでは北方領土返還の運動をやっていたんですか。

蓮池 僕の前は、日本人で活躍する奴がいなかった。対ソビエトから怖いじゃないですか。そんな時代に、「ロシアに行つて大げんかするバカな日本人がいる」と僕は麻生太郎さんに笑われたんだ。わかりやすく説明すると、日本JCでロシアに行つて抗議したんですよ。相談に行つた麻生太郎さんには「勉強しろ、日本人はだらしがない」くらいハッパかけられて。それで一緒に行くメンバーを全国

から集め、1年くらいかけて勉強して、総論は委員長だから僕がやることに。実際にモスクワで社会主義青年同盟という団体とやったんだけど、大変でしたよ。決めた時間が過ぎても、興奮してどっちも席を立てない。僕らも37歳と若い頃だから「あつという間に国の法律も変えるほどのそんな国なんですか」って質問をしてしまったんだよね。「それはバカにしているのか」と相手も興奮して、喧々諤々で通訳も困り果てて泣いていました。

塩澤 モスクワ訪問は、北方領土返還が目的ではなかった？

蓮池 若いソビエトの人と日本が抱えている問題とソビエトが抱えている問題をお互いに対等な立場で話し合うという名目だけれど、僕らの根底には領土問題がある。色々あつたけれど翌年も招かれた。内閣府に「行つていいの？」と言つたら「君だけは行つたら帰れない」と言われて、結局だれも行かなかつた。その1年くらいして内閣府から「独立行政法人北方領土問題対策協会」のために意見を言う青年を集めて欲しいと連絡が来た。

塩澤 内閣府は北方領土問題を

解決する所として、民間の人たちを集めていたのですか。

蓮池 その前に日本JCの北方領土系の委員長を終わつた後に「都民会議」という会を立ち上げていましたけどね。国の北方領土返還運動は4島一括返還なんだけど、どうしても妥協させようとして「先に2島」という意図がある。「だけど基本は4島」と言わないといけないから紛糾してしまふのだけども。4島一括は僕らが最初に言い出した宿願だよ。

塩澤 すごい！まさに北方領土問題はライフワークですね。

